

事務事業名		広聴活動費					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	広報広聴係	担当課長名	大木 聡	
	施策	3 市政情報の共有と広聴活動の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 広聴活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	772	一般	2	1	2	広聴活動費					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H17年度～		根拠法令等	・佐野市市政モニター設置要綱 ・投書箱及びメール事務取扱要領		実施方法		直営	
	事業区分		事業分類		リーディングプロジェクト		市長マニフェスト		該当なし		
	事業区分		事業分類		市長マニフェスト		市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
市政に関する市民の建設的な意見・要望を聴くために、市ホームページに「佐野市へ一言」投稿フォーム、及び各庁舎・支所に投書箱を備え、市政に関する市民の意見、要望等を聴取し、市政の効率的な運営に資する。 市民の公正な世論を聴くための市政モニターを委嘱、活用することで、市政に関する市民の意見、要望を聴取する。	活動内容 ・ホームページに「佐野市へ一言」投稿フォームを開設。 ・東阪庁舎、田沼・葛生行政センター、各支所に投書箱を設置。 ・投稿フォーム、投書箱からのデータは分析して、その結果を各課に送付する。 ・平成24年度に「市政モニター設置要綱」を改正し、公募だけでなく、各種団体からの推薦、佐野短期大学						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市政モニター数	人	13	14			
	投書箱設置箇所数	箇所	7	7			

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市民数(人口)	人	123,182	122,582	121,522		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・意見、要望を市に伝える事ができる。 ・意見、要望等を受け、これに回答してもらうことにより、市政に対する理解を深めてもらう。 ・市民の考えや意見を収集する事が出来る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	意見応募件数	件	195	156			

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市民の意見が市政に取り入れられている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	市民の意見が市政に取り入れられているとと思っている市民の割合	%	16.5	15.1	31.0	31.5	32.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			金額	事業費	金額	事業費	金額	事業費	金額	事業費	金額	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		13	14	13	0	0				
	事業費計(A)	千円		13	14	13	0	0				
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
		報償物資費	13	報償物資費	14	報償物資費	13					
人件費	人	2	1	1	1							
のべ業務時間	時間	240	240	240	240							
人件費計(B)	千円	934	946	946	946							
トータルコスト(A)+(B)	千円	947	960	959	946							

事務事業名	広聴活動費	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	広報広聴係
-------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市政に関する市民の意見、要望等を聴くために、平成17年度から実施。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	市民の意見は、ますます多種多様なものになっていくと思われる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	「庁舎出先機関にも、投書箱の設置を」(平成18年2月定例会議本議員一般質問)

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	ホームページ上において意見を公開するなどPRに努めている。平成24年度には市政モニター設置要綱を改正し、公募、各種団体推薦、佐野短期大学推薦など幅広い分野からのモニター選出を実現し、より世論の動向を把握できるようにした。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	広く市民からの意見、要望等を聴く機会を設けることは、市政に対する信頼を確立する上で必要である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民の意見、要望等を広く市民から聴くことは、市の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は市民の意見、要望等を広く市民から聴くものであり、対象は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	年度ごとに意見等件数に増減があるが、市民の満足度も徐々に向上している。さらに、満足度を引き上げるためにも、同事業の一層の周知を図る必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名   市政懇談会開催事業 ・対象・意図は同じであるが手法が異なっており、事業の統合はできない。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	人件費も、「佐野市へ一言」投稿フォーム、及び投書対応に伴うものであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	広聴活動を推進するための事業であり、「佐野市へ一言」投稿フォーム、及び投書箱は広く市民を対象としているため、受益者は特定されず負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	市民に定着してきたところであり、市民から直接意見を聴く機会が少なくなってしまうことから、廃止・休止することはできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 市政モニター要綱を改正し、各種団体や佐野短期大学生など幅広い世論の動向を推し量ることが出来るようになったので、今後は、このモニターを市の各種事務調査にも活かすなど、より幅の広い運用方法を検討していく。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下		×	×	・市政に関する意見について、聴取内容(苦情や質問と意見、要望、提案など)の処理基準等を検討し、市民からの意見は、定期的に市民へ情報を提供するよう検討する。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		○																				
維持			×																			
低下		×	×																			